

科目名	アイデア発想・展開法				
授業形態	講義	学年	1		
開講時期	2023年度 後期	単位数	2		
担当教員	柴崎 恭秀				
内容および計画	<p>デザインにおいて「アイデアを発想する」といった場合、デザインテーマそのものを発想する場合と、造形・形態において新たなアイデアを発想する場合の大きく2つに分けられるが、ここでは前者に主眼をおき、「デザインテーマそのものを如何に見つけ出すか」ということと、既にあるデザインアイテムについて「それらを超えて如何に新規軸を発想できるか」といった発想・展開方法について学ぶ。</p> <p>到達目標は以下の5点。</p> <p>①背景・目的を捉える ②ユニークで新しい発想・提案ができる ③調査をもとにしっかりと計画できる ④作品の意図を的確に表現する ⑤評価、フィードバックを行う</p>				
1	ガイダンス・2022 課題と作品紹介				
2	アイデア発想・展開のためのプロセスー誰のためのアイデア？				
3	デザインテーマを発見する(1)「UD(ユニバーサルデザイン)」について				
4	デザインテーマを発見する(2)「UD(ユニバーサルデザイン)」について				
5	デザインテーマを発見する(3)「絵本」について				
6	デザインテーマを発見する(4)「絵本」について				
7	研究課題の中間発表(1)				
8	研究課題の中間発表(2)				
9	各分野で発想されたアイデアは如何に発想・展開されたか(1)近年のデザインの傾向・評価をデザイン賞等を通して学ぶ				
10	各分野で発想されたアイデアは如何に発想・展開されたか(2)近年のデザインの傾向・評価をデザイン賞等を通して学ぶ				
11	各分野で発想されたアイデアは如何に発想・展開されたか(3)「震災復興・まちづくり」について				
12	各分野で発想されたアイデアは如何に発想・展開されたか(4)「震災復興・まちづくり」について				
13	アイデアをまとめる・実現する技術・(法体系)・特許取得のフロー特許・実用新案等の申請プロセスを学ぶ				
14	研究課題の最終発表				
15	研究課題の最終発表				
教科書					
	タイトル	著者名	出版社	ISBN	発行年
適宜資料を配布					
参考書	柴崎恭秀「まちを再生する99のアイデアー商店街活性化から震災復興まで」彰国社 「GOOD DESIGN AWARD 2022 YEAR BOOK」日本デザイン振興会				
成績評価					
	評価方法				割合(%)
	出席状況(受講態度含む)				20
	課題提出状況及び発表				40
	研究課題状況及び発表				40

学習到達目標	<p>デザインを行っていく上でのアイデアの構築と展開の方法について、具体的なテーマ課題を設定して取り組めるようにする。</p> <p>数多くのアイデアを抽出し、テーマに対しての整合性を自ら判断しフィードバックができるようになる。</p> <p>関連する技術などの調査分析を行い、自らのアイデアの技術的裏づけとなる考察を行えるようにする。</p> <p>自らのアイデアを、社会性を踏まえてまとめ上げ提案を行えるようにする。</p>
先修条件	
実務経験	<p>実務経験あり:大手設計事務所にて勤務後、設計事務所を設立。キャンパス計画や集合住宅、住宅等のインテリア・建築デザインに15年以上従事してきた。一級建築士として20年以上の経験を有す。この経験をもとに、インテリアデザイン、建築デザインの基礎、応用について教授する。</p>
その他	